



平成 29 年度人材育成プロジェクト TalkTreeWORKSHOP

人プロ YWT

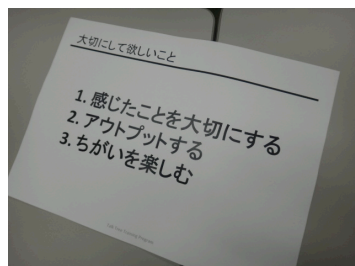
(Y) やったこと / (W) わかったこと / (T) つぎにやること

場所

特別養護老人ホームさくら

編集

野崎建治郎 (リビン)



(Y) やったこと…なにをやったか

特別養護老人ホームさくらにて、コミュニケーションデザイナーの加藤未礼さん考案のTalkTreeWORKSHOPを、元木一喜さんをメインファシリテーターにお招きして、「対話」の体験をテーマに行いました。

TalkTreeWORKSHOPでは、木の各部(根、幹、枝、実)と取り巻く環境(土、太陽、鳥)を、個人や組織と取り巻く地域社会のそれぞれに見立て、個人やグループで一本の木をつくります。今回は3グループに分かれ、「地域の福祉拠点の役割を果たす」という法人の理念を共通の「幹」に見立て、誰のために・どんな未来を目指して・何を行い・どんな価値を地域に生み出していくか、を話し合いました。

(W) わかったこと…気づき、学び、感想

参加した職員さんたちは最初は固さが見られていましたが、ワークが進むにつれて自分の意見を交換しあうようになりました。部署が異なる人同士が、思いや考えを互いに伝え合う貴重な機会になりました。

また最後には、それぞれが今後行えそうなコミットメントを全員が発表しました。コミットメントを直接言葉にすることで、今回の体験が次につながっていくことを期待します。

(T) つぎにやること…次回にむけて

「対話と協働の土壌づくり」が人材育成プロジェクトの使命です。今回のワークショップをきっかけに、法人全体に「対話と協働」を志向する風土や文化が少しずつつくられていくよう、今後も様々な取り組みを続けていきたいと思っています。

